

■□■登録日：2016-03-22

■□■タイトル

建設業のIT活用セミナーを開催 岡崎組とスパークジャパン

■□■本文

宮崎市の株式会社岡崎組(岡崎勝信代表取締役)とスパークジャパン株式会社(岡田憲明代表取締役社長)は、4月15日に「建設業界のためのIT活用セミナー」を共催する。「ITをもっと利活用できれば業界は大きく躍進できる」という考え方を、参加者に具体性を持って訴え、実現してもらうことが狙い。

国土交通省が公共工事の執行にCAL Sの概念を導入してから20年が経過した現在、入札業務や落札情報の閲覧、測量・積算パッケージソフトの使用など、インターネットを活用したパソコンやタブレット端末の使用は多岐にわたるが、建設業界では未だ存分にこれを利活用できていないのが実情であり、他業界に遅れをとっている。

このような状況の中、岡崎組では企業間における請求書を電子化した「電子請求書プラットフォーム」や、顧客情報や顧客対応履歴を蓄積して管理する「顧客管理システム(CRM)」を導入するなどして、業務の効率化と生産性のアップを図っている。

セミナーでは、本県建設業でいち早くクラウドの利用を開始した岡崎組と、クラウドツールの提供やカスタマイズを行っているスパークジャパンの担当者が、社内で実際に行っている実例を交えたワークスタイルの変革、業務の短縮・効率化により企業全体の生産性を向上させる一例などを紹介する。

岡崎組の担当者は「セミナーを通じて県内建設業界全体の業務革新の一翼を担えれば嬉しい。是非ご参加いただき、各事業所で今すぐできることから初めてもらいたい」と話す。セミナーに関する問い合わせ先は、株式会社岡崎組管理部(電話0985-53-0567・担当=宮浦)まで。